

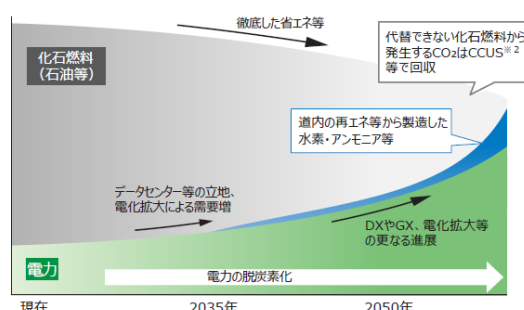
北海道電力(株) 総合研究所 研究グループ紹介 研究戦略グループ

広大な地域に都市が散在し、積雪寒冷といった特徴を有する北海道は、他の地域に比較し一人当たりの温室効果ガスの排出量が多く、また、少子高齢化の進展や、都市部への人口集中とその他地域の過疎化により、様々な課題が顕在化しています。

このような中、『北海道の発展に向けたGX実現への挑戦』、『新たな価値創造に向けた挑戦』、『持続的な成長に向けた経営基盤の強化』をほくでんグループの経営テーマに掲げ、様々な取り組みを進めています。

当グループでは、上記の取組みの一環として、再エネ・蓄電池・電気自動車等のエネルギーリソースの統合制御や、カーボンニュートラル実現に向け注目されている水素の利活用など、次世代エネルギーシステム構築に向けた研究を行うとともに、望ましい北海道の実現に必要な戦略の検討、独自のマクロ計量モデルを活用した北海道の経済予測、およびエネルギー需要予測といった社会経済的な研究等に取り組んでいます。

北海道における将来のエネルギー需要（イメージ）



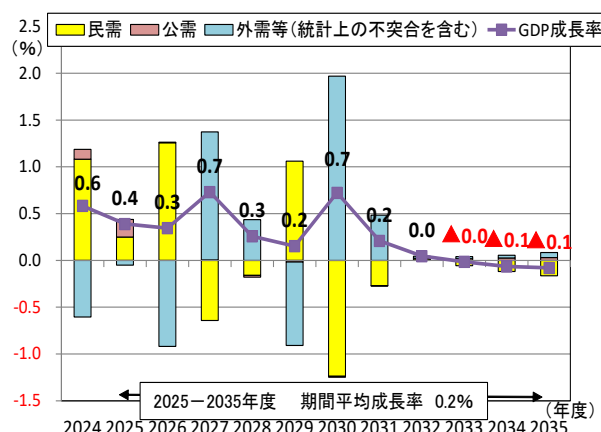
グループの役割

- ・次世代エネルギーシステムの構築に向けた取組み
- ・販売戦略策定に向けた経済・市場分析
- ・望ましい北海道の実現に向けた成長戦略の検討
- ・研究開発計画方針の立案・計画、将来技術動向の調査・課題発掘、カイゼン活動の推進

水素製造装置（PEM型水電解装置）の外観



実質 GDP 成長率と寄与度（北海道）



至近の主な取組み

- ・VPP（Virtual Power Plant）活用に関する調査研究
- ・家畜系バイオガスプラントを活用した地域モデル構築
- ・水素製造装置の性能試験と評価
- ・大規模なグリーン水素サプライチェーン構築調査
- ・北海道の経済予測・シナリオシミュレーション
- ・当社事業に関するお客様の意識調査

グループが保有するコア技術

- ・電力システムの運用、解析技術
- ・蓄エネルギー（水素、蓄電池）に関する知見
- ・マクロ経済分析、産業連関分析、事業性評価